

一生のうちに、
猫は3頭に1頭が
腎臓病になると
いわれています。



腎臓病の早期発見に役立つ新しい検査をご紹介します。

腎機能の新しいバイオマーカー IDEXX SDMA®

従来の検査

今まで一般的に行われている主な血液化学検査項目(クレアチニン検査)だけでは、腎臓の機能が約75%以上失われないと異常が検出できないことが知られています。



機能の約75%が失われてから
数値が高くなるとされています

IDEXX SDMA®

犬猫のために新しく開発された血液化学検査項目 IDEXX SDMA® (対称性ジメチルアルギニン)は、腎機能の異常をより早期に検出できるとされています。



機能の約40%が失われた段階で
数値が高くなるとされています

● Yasunori M, Yasunori M, Ohsaki C, Jansen DE, Paul JA. Symmetric dimethylarginine (SDMA) increases earlier than serum creatinine in dogs with chronic kidney disease. *SDMA: A Novel Biomarker for CKD*. J Vet Intern Med. 2014;28(5):1056-1061.

● Paul JA, Yasunori M, Ohsaki C, Yasunori M, Jansen DE. Comparison of serum concentrations of symmetric dimethylarginine and creatinine in kidney function biomarkers in cats with chronic kidney disease. *J Vet Intern Med*. 2014;28(5):1070-1082.

どれくらい早く発見できるの？

- IDEXX SDMA[®] は、猫では平均17カ月、腎臓病を発見できる可能性があることが血清クレアチニンとの比較でわかっています。

早期に腎臓病を発見することで、腎臓を保護し病気の進行を効果的に遅らせるケアを開始するタイミングを、適切に判断することが可能になると考えられます。

腎臓病の診断は、SDMAだけでなくその他の指標も合わせて総合的に獣医師の先生が行います。



慢性腎臓病と診断されたら？

- 個々の病状に合わせて、食餌療法、投薬治療等を開始することにより、病気の進行を遅らせることが期待できます。より効果的なケアを行うためにも、早期診断が重要となります。

慢性腎臓病ってどんな病気？

- 主に中年以降で発生が増加します。
- はっきりした原因がわからないことが多く、一度発症すると完治することはありません。
- 進行するにつれて正常に機能する腎組織が減少し、多くの場合、かなり進行が進むまで明らかな症状があらわれません。そのため発見が遅れることが問題になります。

